

校外学習に行ってきました。

3年生 修学旅行（5月18日～19日）

沖縄が梅雨入りしたため天候が心配されていましたが、3日間ともバスガイドさんが驚く程の良い天候に恵まれました。

初日は、ひめゆりの塔、平和祈念公園、糸数アブチラガマ等を巡りました。資料館での学習や平和祈念集会、真っ暗な壕内での学習を通して、生徒一人一人が戦争の悲惨さを肌身で感じ取り、平和のため自分ができることについて真剣に考えていました。そのような生徒たちを誇りに思います。ひめゆり資料館内では、学徒隊のことについてお話くださる方に、自ら話しかけ質問する生徒もいました。その方は私に次のようにおっしゃいました。「生徒さんたちは、事前しっかりと学習されていますね。そのことがとてもうれしいです。これから平和を守っていくのはこの子たちですからね。」

2日目は、沖縄の文化と自然を満喫しました。美しい海でのシュノーケリングやシーカヤック、沖縄方言を学びながらのお菓子作り、水族館の見学など、友だちとの楽しい思い出が沢山できました。そして、最終日は、おきなわワールドや首里城で沖縄の歴史に触れたり、国際通りで班別自主研修を行ったりしました。

平和について真剣に考えたことや美しい自然の中でのすばらしい思い出が、きっとかけがえない宝物となっていることでしょう。



2年生 広島平和学習（5月19日）

広島平和公園を訪れ、資料館を見学し、被爆証言講話を聞きました。平和祈念式典を行った後、ボランティアガイドさんのお話を聞きながら班ごとに慰霊碑などを歩いて巡りました。生徒たちは、戦争の惨禍から目をそらさず、命や平和の尊さを心に刻んだものと思います。

【生徒の感想（一部抜粋）】

- 被爆証言者の方の「動物、植物も命を奪われた」、「戦争は人権などない」というお話が特に心に残っています。「平和は待っているだけでは来ない。」という言葉から、平和を実現する事が大切だと本当に思いました。
- 今もまだ身元が分からない人の遺骨がたくさんあり、それらが平和公園の下に埋まっているということが衝撃的でした。その人たちを想いながら黙とうしました。
- 戦争はあらゆる命を奪ってしまうので、戦争は絶対にしてはいけないという思いが一層強まりました。
- インターネットなどで学ぶのとは全く違うことがわかりました。広島に行って戦禍を実際に見たり、聞いたりすることで、多くのことを学ぶことができました。



自転車置き場に白いライン！



学級委員会と有志の生徒たちが、自転車置き場に白いラインを引いてくれました。そのラインに合わせて置くことによって、自転車の出し入れがスムーズにできるようになりました。きれいに並んだ自転車を見るとすがすがしい気持ちになります。学校生活をよりよくしていこうという思いが感じられ、とてもうれしかったです。

